



林業機械での作業実演



森林・林業・環境機械展示実演会

みどりの女神が行く!



飯塚帆南(いづかほなみ)
平成5年7月26日、群馬県生まれ。2016年ミス日本みどりの女神として活躍中!

こんにちは!みどりの女神の飯塚帆南です。10月8日から10日まで「第40回全国育樹祭」を中心に、たくさんイベントがあった京都府に伺いました。

第40回全国育樹祭「育樹の輪ひろげる森と木の文化」

10月9日、「第40回全国育樹祭」が皇太子殿下のご臨席のもと、南丹市「府民の森ひよし」を会場に開催されました。

特に印象的だったのが林業の若い後継者たちの誓いのことばで、林業に対する熱い思いが込められており、とても頼もしく、林業の未来は明るいと感じました。この育樹祭を契機に、たくさんの方々から緑と木を身近に感じ大切に考えてくれたらと思います。また、当日はたくさんの方々に緑の募金にご協力いただき、ありがとうございました。

林業機械運転初お披露目

そして10月10日の「森林・林業・環境機械展示実演会」にて、この日のために受講していた林業機械の特別教育の成果をお披露目する機会を頂きました!

大勢の皆さんの前で林業機械を操り、造材した丸太を運んだり、ペットボトルをそっとつまんで移すという作業をなんとか成功させることができました。それでも細かいな調整を繰り返す操作はとても難しく大変でした。プロの方々の技術はホントにすごい!

それと同時に私は、この作業は過去と未来を繋ぐとても大切で重みのある作業だと実感しました。なぜなら、50年から100年、もしくはそれ以上かけて先人達が一生懸命育ててきた木々を、これからの未来の世代に利用される材へと「繋ぐ」作業だったからです。

様々な林業機械の操作を通して、ほんの少しですが、私は新しい視点で林業と向き合えた気がしました。林業の魅力、林業家が背負う責任感と使命感を実感できたこの経験を活かし、これからも色々な切り口から林業の魅力を発信していきたいと思えます。

国際森林シンポジウム

10月8日に、亀岡市で行われた国際森林シンポジウムで、REDD+（森林減少・劣化抑制&森林保全の国際メカニズム）というプロジェクトの特派員として、9月にインドネシアを訪問した経験を発表するということでも貴重な機会を頂きました。

発表では、かつて違法伐採に携わったけれど、様々な問題を解決し、今は林業家として持続可能な森林づくりに励むインドネシアの方々を紹介しました。意識が変わる「ことが人をどれほど輝かせ、自信を持たせるかを実感しました。また、私たちが国産材を活かし、木材について関心を高めることによって途上国の違法伐採を抑制し、環境改善にも貢献できることを発表しました。

当日の様々な発表から、先人たちが大切に守ってきた森を次世代へと受け継ぎ、日々の生活を木材で豊かにしていくことが、持続可能な森林づくりを支えていくのだと改めて学ぶ場となりました。



国際森林シンポジウムでの発表